

定期作況報告

(平成 18 年 5 月 20 日現在)
北海道立上川農業試験場天北支場

I 気象概況

11 月 1 日から 5 月 20 日までの気象は以下のように推移した。

- 11 月：平均気温は上旬が 8.8℃（対平年値比+4.1℃、以下同様）と平年より高かったが、他は平年よりも低いかやや低かった。降水量は 3 旬とも少なかった。日照時間は上旬が 33.3 時間（147%）、中旬が 31.0 時間（166%）とそれぞれ平年より長かった。畑地温は上旬が 8.8℃（+2.9℃）と平年より高かった。
- 12 月：平均気温は上旬が-2.0℃（+1.1℃）と平年よりやや高かったが、下旬は-6.8℃（-1.5℃）と平年よりも低かった。降水量は中旬が 56mm（165%）と平年より多かった。日照時間は下旬が 22.7 時間（130%）と平年よりやや長かった。
- 1 月：平均気温は上旬が-8.8℃（-3.0℃）と平年より低く、中旬が-7.7℃（-1.2℃）と平年よりやや低かった。降水量は上旬が 16mm（43%）、下旬が 9mm（33%）と平年より少なかった。日照時間は上旬が 22.7 時間（167%）と平年よりやや長かった。
- 2 月：平均気温は上旬が-9.3℃（-2.0℃）と平年より低かったが、中旬が-6.6℃（+1.6℃）、下旬が-1.8℃（+4.0℃）と平年より高かった。降水量は上旬が 7mm（39%）と平年より少なかったが、その他の旬は平年並みであった。日照時間は下旬が 21.4 時間（64%）と平年よりもやや短かったが、その他の旬は平年並みであった。
- 3 月：平均気温は上旬が-3.5℃（+2.0℃）と平年よりも高く、中旬が-1.4℃（+1.2℃）と平年よりやや高かった。降水量は上旬が 43mm（253%）、下旬が 52mm（260%）とそれぞれ平年より多かった。日照時間は 3 旬とも平年よりやや短かった。
- 4 月：平均気温は上旬が-1.6℃（-3.4℃）、中旬が 2.2℃（-2.0℃）、下旬が 3.4℃（-2.7℃）と 3 旬とも平年より低かった。降水量は上旬が 7mm（58%）と平年より少なかったが、下旬は 39mm（177%）と平年よりも多かった。日照時間は中旬が 30.7 時間（61%）と平年よりやや短かった。畑地温は下旬が 1.3℃（-3.8℃）と平年より低かった。
- 5 月：平均気温は中旬が 13.7℃（+5.1℃）と平年より高かった。降水量は中旬が 8mm（38%）と平年より少なかった。日照時間は中旬が 84.1 時間（157%）と平年より長かった。畑地温は上旬が 3.7℃（-2.4℃）と平年より低かった。

本年の降雪始は平年より 2 日早い 10 月 25 日であった。根雪始は平年より 1 日早い 11 月 22 日であり、融雪期は平年より 8 日遅い 4 月 23 日のため、積雪期間は平年より 10 日長い 153 日であった。

4 月からの主気象要素の積算値は、平均気温、降水量は平年並みに、日照時間は平年よりもやや長く、畑地温は平年よりもやや低く推移している。

A.季節表

項目 年次	降雪始 (月.日)	根雪始 (月.日)	融雪期 (月.日)	降雪終 (月.日)	積雪期間 (日)	耕鋤始 (月.日)	晩霜 (月.日)
本年	17年10. 25	17年11. 22	18年 4. 23	18年 5. 1	153	18年 5. 3	18年 5. 8
平年	10. 27	11. 23	4. 15	4. 29	143	4. 25	5. 9
比較	△2	△1	8	2	10	8	△1

注) 降雪終、晩霜は5月20日現在。

B. 気象表

項目 月旬	平均気温 (°C)			平均最高気温(°C)			平均最低気温(°C)			降水量 (mm)			降水日数 (日)			日照時間(hrs)			畑地温(10cm、°C)			最多 風向	平均風速 (m/s)
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較		
17年 上	8.8	4.7	4.1	12.6	7.9	4.7	5.1	1.4	3.7	24	44	△20	4	7	△3	33.3	22.7	10.6	8.8	5.9	2.9	SSW	2.0
11月 中	0.4	1.6	△1.2	3.8	4.3	△0.5	-2.5	-1.4	△1.1	10	35	△25	7	7	0	31.0	18.7	12.3	4.4	4.3	0.1	WSW	1.8
下	-0.3	0.3	△0.6	2.6	3.0	△0.4	-3.9	-2.8	△1.1	37	57	△20	9	8	1	24.7	18.1	6.6				SSW	2.2
12月 上	-2.0	-3.1	1.1	0.8	-0.7	1.5	-5.5	-5.9	0.4	31	35	△4	9	8	1	19.6	14.8	4.8				SSW	2.3
中	-4.8	-4.5	△0.3	-1.8	-1.8	0.0	-9.0	-7.9	△1.1	56	34	22	8	8	0	14.4	16.5	△2.1				SSW	2.4
下	-6.8	-5.3	△1.5	-3.3	-2.6	△0.7	-11.4	-8.6	△2.8	17	30	△13	7	8	△1	22.7	17.4	5.3				SSW	2.1
18年 上	-8.8	-5.8	△3.0	-4.6	-3.2	△1.4	-13.4	-9.1	△4.3	16	37	△21	6	8	△2	22.7	13.6	9.1				SSW	2.0
1月 中	-7.7	-6.5	△1.2	-4.7	-3.8	△0.9	-12.3	-10.0	△2.3	22	22	0	6	7	△1	19.1	16.6	2.5				SSW	2.2
下	-6.5	-7.7	1.2	-4.1	-4.7	0.6	-9.9	-11.5	1.6	9	27	△18	7	8	△1	16.7	21.5	△4.8				W	2.4
2月 上	-9.3	-7.3	△2.0	-5.7	-4.0	△1.7	-13.2	-11.3	△1.9	7	18	△11	5	7	△2	30.9	26.2	4.7				SSW	1.9
中	-6.6	-8.2	1.6	-2.9	-4.3	1.4	-12.0	-13.3	1.3	23	20	3	6	7	△1	30.7	34.1	△3.4				WSW	2.0
下	-1.8	-5.8	4.0	1.9	-2.0	3.9	-5.4	-10.6	5.2	27	18	9	5	5	0	21.4	33.7	△12.3				WSW	2.2
3月 上	-3.5	-5.5	2.0	-0.2	-2.3	2.1	-7.5	-9.9	2.4	43	17	26	8	6	2	30.3	40.7	△10.4				SSW	1.9
中	-1.4	-2.6	1.2	2.4	0.8	1.6	-6.0	-6.7	0.7	17	17	0	5	5	0	33.2	47.2	△14.0				WSW	2.2
下	-0.7	-0.2	△0.5	1.4	2.9	△1.5	-2.4	-3.6	1.2	52	20	32	7	5	2	31.5	46.6	△15.1				E	3.5
4月 上	-1.6	1.8	△3.4	0.9	5.2	△4.3	-4.6	-1.8	△2.8	7	12	△5	3	4	△1	53.3	56.5	△3.2				NNE	1.8
中	2.2	4.2	△2.0	5.5	8.2	△2.7	-0.3	0.3	△0.6	31	22	9	6	4	2	30.7	50.6	△19.9				E	2.2
下	3.4	6.1	△2.7	7.2	10.6	△3.4	0.7	1.8	△1.1	39	22	17	7	4	3	42.5	53.4	△10.9	1.3	5.1	△3.8	SSW	2.0
5月 上	6.6	6.6	0.0	10.2	10.6	△0.4	0.8	2.7	△1.9	37	30	7	4	4	0	67.5	51.0	16.5	3.7	6.1	△2.4	SSW	2.4
中	13.7	8.6	5.1	19.0	12.8	6.2	7.6	4.4	3.2	8	21	△13	1	3	△2	84.1	53.5	30.6	7.6	7.5	0.1	SW	2.8

- 注1) 平年値は前10か年の平均値。
2) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値
3) △印は対平年値比減を示す。
4) 平均畑地温は天北農試のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

c. 主要気象要素積算値（4月21日～5月20日現在）

	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (°C)
本年	237	84	194.1	126
平年	213	73	157.9	187
比較	24	11	36.2	△61

Ⅱ 作 況

1. 牧草

1) 採草型 チモシー

作況：不良

事由：冬損は認められなかったが、融雪期の遅れとその後の低温で萌芽期は4月28日と平年より4日遅れ、5月19日の草丈も低かった。

したがって、現在の作況は不良である。

調査項目

萌芽期（月日）			冬損程度 （1無または微～9甚）			草丈（cm）		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較
4.28	4.24	4	1.0	1.0	0.0	23	32	△ 9

注 平年値は前4か年の平均値

2) 放牧型 ペレニアルライグラス

作況：不良

事由：冬損程度は平年よりやや多かった。融雪期の遅れとその後の低温で萌芽期は5月11日と平年より10日遅れ、5月19日の草丈はやや低く、乾物収量は少なかった。

したがって、現在の作況は不良である。

調査項目

萌芽期（月日）			冬損程度 （1無または微～甚9）			草丈（cm）		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較
5.11	5. 1	10	3.0	2.3	0.7	20	22	△ 2

注 平年値は前4か年の平均値

生草収量（kg/10a）			乾物率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
115	265	△150	22.8	22.9	△0.1	26	58	△32	45

注 平年値は前4か年の平均値

Ⅲ 作況調査耕種概要

1. 牧草

1) 供試草種・品種および播種量

草 地	草種名	品種名	播種量 (kg/10a)
採草型	チモシー	ノサップ	1.5
放牧型	ペレニアルライグラス	ポコロ	2.0

2) 調査方法

①施肥量 (kg/10a)

	N	P ₂ O ₆	K ₂ O	炭カル	堆肥
1 年目	4	20	6	250	5,000
2 年目					
採草型	16	6	15	—	—
放牧型	15	6	15	—	—

注) 1 年目草地利用後の追肥は 2、3 年目と同様

2 年目草地の採草型は、早春、1 番草および 2 番草刈取り後に均等分施

2 年目草地の放牧型は、早春および 1～5 番草刈取り後に均等分施

②調査対象 2 年目草地

③播種日 2 年目草地：平成 17 年 6 月 16 日

④播種法、供試面積、反復数（採草型、放牧型に共通）

条播（畦幅 30cm）、1 区面積 5.4m²（畦間 30cm×畦長 450cm×4 畦）、反復数 4

⑤刈取り 採草型 3 回

放牧型 6 回（5 月から 10 月まで毎月 20 日）

Ⅳ 作況報告対象草種等の変更について

平成 14 年度まで、散播・混播による採草型 2 タイプ（TY・RC、OG・RC）、放牧型 2 タイプ（OG・WC、PR・WC）の作況報告をしていましたが、平成 15 年度から条播・単播による採草型（TY）、放牧型（PR）それぞれ 1 タイプに変更しました。

なお、2 草種については、平成 13 年度の造成より調査を開始しており、今年度の平年値には平成 14 年度～17 年度の 4 か年の平均値を参考値として記載しています。